

■著者紹介

村上 弘 Hiroshi Murakami

立命館大学法学部教授（行政学・政治学・地方自治論）

1954年、京都市生まれ。京都大学大学院修了、法学博士。コンスタンツ大学、ケルン大学で研究。著書に『日本の地方自治と都市政策—ドイツ・スイスとの比較』、共編著に『よくわかる行政学』『大都市自治を問う—大阪・橋下市政の検証』『大阪都構想Q&Aと資料』『京都市政—公共経営と政策研究』、分担執筆に『比較政治制度論』『神戸市史』『京都市政史』、論文に「道州制は巨大州の夢を見るか?」「公共性について」「『大阪都』の基礎研究」「民主党—2012年衆議院選挙と2大政党制」「強くない日本の市民社会」「日本政治におけるポピュリズム」「政治学教育における目的、内容、方法」「2016年参議院選挙と改憲」「Measurement for Comparative Social Attitudes—From a Perspective of Japan and Osaka」など。